群馬県の観光情報10月号

令和8年（2026）年10月20日
群馬県東京事務所　政策調整第二係

今月の外来発表

No.	情報提供元	内　　容
1	キングオブパスタ実行委員会	キングオブパスタ2026 開催について

今月の注目情報

No.	情報提供元	内　　容	資料
1	高崎市美術館	収蔵作品展「Human Figure　人を見つめ、かたちづくる」	P.1
2	群馬県立歴史博物館（高崎市）	「現代（いま）によみがえる能装束 -縫の精緻　箔の輝き-」	P.1
3	群馬県立土屋文明記念文学館	企画展「三島由紀夫のアオハル 中島飛行機からの出発」	P.2

今月の同封資料

No.	情報提供元	内　　容
1	キングオブパスタ実行委員会	キングオブパスタ2026
2	前橋国際芸術祭2026実行委員会	前橋国際芸術祭
3	吾妻行政県税事務所	あがつまニンニン！忍びの里めぐり～315に彩なす吾妻紀行～
4	高崎市美術館	収蔵作品展「Human Figure　人を見つめ、かたちづくる」
5	中之条ガーデンズ	りんご畑の収穫祭2026
6	高崎市タワー美術館	日本画の窓
7	大川美術館	ベン・シャーン 一つたえる手
8	群馬県立土屋文明記念文学館	企画展「三島由紀夫のアオハル 中島飛行機からの出発」
9	群馬県立日本絹の里	まゆクラフトと絹の作品展

情報のお問合せ、ファイルや画像のご請求はこちらへどうぞ

群馬県東京事務所　政策調整第二係

E-mail：g-info@pref.gunma.lg.jp

電話：03－5212－9106　FAX：03－5212－9103

所在地：〒102-0093　東京都千代田区平河町2-6-3　都道府県会館8階　群馬県東京事務所

（東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅から徒歩約1分）

高崎市美術館
収蔵作品展　Human Figure【高崎市】

人を見つめ、かたちづくる

人物を対象として描く、造形するという行為は、美術の道を志した者が最初期から取り組む基礎訓練のひとつであり、多くの芸術家を生涯惹きつけ、表現の源泉となってきたテーマでもあります。本展覧会では「人間を見つめる」「ヌード」「愛するものへのまなざし」「芸術家とモデル」などさまざまなテーマにより、多彩な人物表現を展観します。あわせて、身近な人の衣服などをモチーフとして人の記憶や時間を陶で表現する山本優美（1983-）を紹介します。

https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/art-museum/
X（旧Twitter）公式アカウント　@takasaki_inoue

日時	◆２０２６年１０月１０日（土）～１２月１３日（日） 【高崎市美術館】 １０時～１８時（金曜日のみ～２０時） ※入館は閉館３０分前まで 【旧井上房一郎邸（美術館敷地内）】 邸内：１０時～１１時、１４時～１６時 庭園：【１０～１１月】１０～１８時 【１２月】１０～１７時 ※入園は閉園３０分前まで
場所	◆ＪＲ高崎駅西口から徒歩３分
交通	◆電車：ＪＲ線　高崎駅西口から徒歩３分 ◆ 車 ：関越自動車道　高崎ＩＣから約２０分
担当	◆高崎市美術館（ＴＥＬ０２７－３２４－６１２５）



山名將夫 《裸婦立像》
2007年頃
油彩・キャンバス
高崎市美術館蔵

群馬県立歴史博物館
第115回企画展【高崎市】

「現代（いま）によみがえる能装束 -縫の精緻　箔の輝き-」

生糸の一大生産地である群馬県にとって、絹を重要な材料とする能装束は文化的・経済的にも深い関係があります。今回の企画展では、能装束の中でも内着であり一部しか見えない縫箔に焦点を当て、日本刺繍の精緻な技術と美しさに迫ります。
本展は、山口能装束研究所の成果のひとつである50領にも及ぶ縫箔を展示します。また、昨年新たに群馬県の重要有形民俗文化財に指定された養蚕・製糸用具をあわせて公開することで、近世から現代における群馬の生糸生産についても紹介します。

（一般1,000円、大学生・高校生500円、中学生以下無料）
【当館HP】https://grekisi.pref.gunma.jp/

日時	◆2026年9月18日（金）～11月23日（月） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
場所	◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）
交通	◆車：上信越自動車道「藤岡IC」より約10分。 関越自動車道「高崎玉村スマートIC」より約10分。 北関東自動車道「前橋南IC」より約15分。 アイ・ディー・エー群馬の森駐車場を利用（無料）。 ◆電車：JR高崎駅よりバスで約25分。
担当	◆群馬県立歴史博物館（027-346-5522） 学芸係　武藤



浪に花唐船文様
（山口能装束研究所蔵）

群馬県立土屋文明記念文学館【高崎市】

企画展「三島由紀夫のアオハル　中島飛行機からの出発」		
	・生の苦悩や葛藤を鮮烈に描き、世界中の読者を魅了し続ける三島由紀夫。 ・現代を生きる私たちの価値観を揺さぶる三島文学の出発点は群馬にありました。 ・本展では、緊迫した戦時下で執筆に没頭した青春時代の三島の素顔に迫ります。 【土屋文明記念文学館ＨＰ】https://bungaku.pref.gunma.jp/project/3148/	
日時	◆会　　期　2026年10月17日（土）～2027年2月7日（日） ◆開館時間　9:30～17:00（観覧受付は16:30まで） ◆休 館 日　火曜日（11月3日は開館）、 11月4日、12月28日～1月6日	
場所	◆群馬県立土屋文明記念文学館	
交通	◆JR高崎駅（西口）からタクシーで約20分 ◆JR高崎駅からバス（群馬バス、市内循環バス） ◆関越自動車道前橋ICから約15分	
担当	◆学芸係　河野（Tel 027-373-7721）	